



# 農機作業への警鐘

リポーター 藤原信雄 (山館)

藤力所長に、お話を伺いました。最近の農機具はハイテク化が進み、いろんな機能がついていますが、作業効率ばかり優先し、安全面の研究・開発が遅れているのでは？



左が斎藤所長、右が藤原リポーター

「トラクターに関しては、平成三年から安全フレームの取り付けが義務付けられています。ま

七月十九日、森吉町の農業Tさん(六三歳)は横転したトラクターの下敷きになり、胸部圧迫で死亡。この新聞記事を見て、今年は何件目だったろうと考えました。私も今年、田植え機を横転させました。幸いけがはありませんでしたが、これがきっかけで農作業事故について考えるようになり、JA大館市農機事業所の斎藤力所長に、お話を伺いました。最近の農機具はハイテク化が進み、いろんな機能がついていますが、作業効率ばかり優先し、安全面の研究・開発が遅れているのでは？

今回は、農作業中の事故と、農機具の安全性について、JA大館市農機事業所を取材した藤原リポーター、大館市のスポーツ振興について、スポーツレクリエーション祭などを取材した奈良岡リポーター、お二人のリポートをご紹介します。

の年齢も高まる傾向にあります。▽一番の原因は？

「慣れによる油断です。初心者よりベテランの事故が多いです。農機具の事故原因としては、①危険な場所での強引な作業 ②ハイテク農機具の知識不足 ③農機具を使用する人の慣れなどが考えられます。

事故を防ぐためには、危険な場所が自分の耕地なら自分で整備し、農道などなら行政や関係機関に協力を要請し、安全にす

た、シートベルトが装備された機種も出てきています。コンバインも、年々いろんな個所に保安機構が施され、事故は減ってきているようです。しかし、最近の農機具のハイテク化には、ついていけない人も多く、操作知識の不足による事故もあるようです。

▽農業従事者の高齢化による事故の危険性は？

「過去十三年間の農作業事故のデータによると、死亡した人の八四パーセントが四十歳以上の人は。また、事故を起こす人

「市民一人ワンスポーツ」の目標を掲げている大館市。今回は大館市のスポーツ振興について、大館市教育委員会体育課安部係長、青柳スポーツ主事にお話を伺いました。

▽市内十三地区で「体育・スポーツ振興会」が発足してから四年たちましたが、どのような趣旨、目的で設立されたのですか？

「各地区で独自に各種体育・スポーツ大会を企画、開催し、地区の住民が広く体育・スポーツに親しみ、体力を増進し、健康で明るい生活ができるように」ということで、平成元年四月、中心部四地区、周辺部九地区の計十三地区で、「体育スポーツ

ること。農機具操作の知識を深めること。そのためにはメーカーや販売する側も、売るだけでなく、操作方法や安全面でのアフターケアをするべきだと思います。そしてなにより大切なことは、農機具を使う人たちが「慣れ」を捨て、初心に帰ることです。

機は便利で効率の良いものですが、同時に危険なものでもあるという認識をしっかり持つて、事故を未然に防いでいかなければならないと思います。

「従来の『大運動会』は、走る種目が主で、その優劣を競うため出場選手が限られていました。また、各地区で『さなぶり』をはじめ、幼稚園や小・中学校、農協のものなど、何回も運動会が開かれることから、俗に言う『運動会疲れ』で選手が集まりにくく、一人でも何種目もこなさなければならぬ人もたくさんいました。

走るのが苦手な人も得意な人も、お年寄りも子供も、だれでもが参加できて楽しめるようにということ、

①いつでも、どこでも、だれでもやれるスポーツ(楽しむためのスポーツ)の普及

②スポーツを通してのコミュニケーションづくり

③市の体育施設の有効活用

④スポーツを通しての市の活性化

などを目的として始められたのが「スポーツ・レクリエーション祭」です。今年のスポーツ・レクリエーション祭は9月5日に開催されます。その場ですぐ出場できるフリー参加種目もありますから、お気軽においでください。

第二回大館市スポーツ・レクリエーションの成功を期待しています。

# 大館市のスポーツ振興

リポーター 奈良岡 忠一(川口)

「市民一人ワンスポーツ」の目標を掲げている大館市。今回は大館市のスポーツ振興について、大館市教育委員会体育課安部係長、青柳スポーツ主事にお話を伺いました。

「従来の『大運動会』は、走る種目が主で、その優劣を競うため出場選手が限られていました。また、各地区で『さなぶり』をはじめ、幼稚園や小・中学校、農協のものなど、何回も運動会が開かれることから、俗に言う『運動会疲れ』で選手が集まりにくく、一人でも何種目もこなさなければならぬ人もたくさんいました。

走るのが苦手な人も得意な人も、お年寄りも子供も、だれでもが参加できて楽しめるようにということ、

①いつでも、どこでも、だれでもやれるスポーツ(楽しむためのスポーツ)の普及

②スポーツを通してのコミュニケーションづくり

③市の体育施設の有効活用

④スポーツを通しての市の活性化

などを目的として始められたのが「スポーツ・レクリエーション祭」です。今年のスポーツ・レクリエーション祭は9月5日に開催されます。その場ですぐ出場できるフリー参加種目もありますから、お気軽においでください。

第二回大館市スポーツ・レクリエーションの成功を期待しています。



左から奈良岡リポーター、安部さん、青柳さん